本調査は、毎年、日本公衆衛生協会を委託元に「地域保健総合推進事業」の一環として会国の市町内を必須にております。この調査で得られた回答は、市町村保健センターに関する基礎データとなるものです。お忙しいところ恐縮ですが、本年度も調査へのご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 市町村における大規模自然災害に対する保健活動に関する調査-

>>> お願い <<<

市町村保健活動調査票

平成28年度

[大規模自然災害対策について]

この診論で、「大機板自然災害」とは、地線・筆波(線災)、風水害(台廻・大雨・洋水・土砂災 置)、火山(噴火)などの自然災害のうち、特に被害が甚大なものを指すこととします。

※本語点で回答いただいた大様模自然災害対策に関する事例の内容は、個別の市区町村が特定できる形では公表いたしません。

[人口規模]

Fil. 貴市町村の人口をご記入ください。

F2. 貴市町村は保健所設置市ですか。

7

2. 11112 1. (\$61)

[担当者]

F3. 貴市町村の健康増進部門に配置されている職権とその人数(常動/非常動)をご記入ください。いない場合は「O」とご記入ください。

	編制	非常動		端	非常動
①保健師	~	~	⑤ 脑科医師	~	~
②管理状態士・栄養士	~	~	つ看護師	~	~
③健東運動指導士	~	~	人。密樹科衛生士	~	~
④健康運動実践給毒者	~	~	③その他保健医療専門職	~	~
6.医師	~	~	実人数(~
The state of the s	1	The same of the same of	AND THE PERSON OF THE PERSON O	1	***************************************

(注) 律勤と非常勤について:雇い上げの職員であっても常駐(フルタイム勤務)している場合は、常勤の人数に加えてください。産休・育体など待別体限中の方も含みます。また、縄託、非常勤においても常勢と同等(国女・国4日以上かつ1日6時間以上)で勤務している場合は、常勤の人数に加えてください。

一般財団法人 日本公衆衛生協会

調査票の再発行に関すること: 株式会社 サーベイリサーチセンター 電話 0120-941-727 担当: 山村・平野

電話 03-3256-8934 企画部 担当: 弓塚(ゆば)

「調査内容」に関すること:株式会社 社会保険研究所

調査実施:株式会社 社会保険研究所 株式会社 サーベイリサーチセンター) 実施主体:一般財団法人 日本公衆衛生協会

(株式会社

※ この調査票は、平成28年11月1日現在の状況を、各市町村で1部ご記入ください。

FAX 番号

E-mal

ご連絡先電話番号

黙

貴市区町村コード

貴市区町村名 貴都道府県名

[記入者情報]

ご担当部局名

ご担当者名

(内線)

ご担当者の職名

品

in the second	問1 貴市町村における市町村地域的災計画(以下、「地域的災計画」とする)の策定状況について、各項目にお答えください。なお、策定済みの場合は、最終見直し年度(平成)を行記入ください。	四1-1 古職・禅故(職巡) (Oは-つだけ)	1、 策定済み (4. z	問1-2 國水電(台國・大國・洪水・土砂災害) (Oは一つだけ) 1. 策定済み(年度) 2. 想定されない	3. 想定されるが未策定 4. 策定状況は不明	問1-3 火山(鷺火) (Oは-つだけ)	(政	3. 想定されるが未策定 4. 策定状況は不明	間1-4 原子力災害 (Oは一つだけ)	1. 策定済み (年度) 2. 想定されない	3. 想定されるが未策定 4. 策定状況は不明	間1-5 その他() (0は-つだけ)	1. 策定済み (年度) 2. 想定されない		問2 貴市町村では、大規模自然災害が発生した場合、指定避難所は向か所設置することが 想定されていますか。また、最大の避難者数は何人と想定されていますか。(地域的災	計画等を踏まえてお答え下さい。)	指定避難所数:約 か所 最大避難者数:約 人		問3 貴市町村では、地域的災計画の策定メンバーとして、保健・医療専門職は参加しました。(OIエーンだけ)	1. 参加した 2. 参加していない 3. 地域応災計画は未策定	; ;	問4 貴市田村では、大規模自然災害時の保健活動等のマニュアルやガイドライン等を策定 していますか。(○は一つだけ)	1. 策定済み(策定 年度、最終見直し 年度)	2. 未策定	rs	
問5 貴市町村では、大規模自然災害時のBCP(業務継続計画)を策定していますか。(〇 はいくつでも)	1. 全庁的な計画を策定 2. 保健部門の計画を策定	3, 未策定	問の 貴市町村では、姉妹都市やその他で、大規模自然災害時の相互支援の協定などを締結 しているところはありますか。(Oはーフだけ)	1, ある 2, ない	3. 計圖中	【大規模自然災害発生に対する準備】	問7 大規模自然災害時に支援が必要な要配慮者について、おおよその人数を把握している	で97%。(URMくりでも)	1、8000000000000000000000000000000000000	職為近天 中液透析患者 6.	在字酸素療法患者 8.	10.	11. その他(12. いずれも把握していない	問8 大規模自然災害に関して、貴市町村の保健担当部門ではどのような活動や編えを行ってい事すか、各届日にが築ってださい、なが、保御出当部門の以の中権では、保健出当	がながら、 できません できません できます かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しょうしょう しょうしょく しょうしょく しょく しょうしょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく	間8-1 物品の準備に関すること(Oはいくつでも)	1. 医療物資 (医薬品、医療機器、医療資材など)の備蓄 (場所)	2. 医薬品等の医療機関・薬局等での流通備蓄	災害対応の通信機器の整備(衛星		5. 物品や器具等の固定	6. その他()	(, Nynear)		*	

8. NPO 等を含めた民間の災害対応者と情報共有して良い事項と、行政内で守秘 2. 災害時に参集できた人の名前を臨機応変に入れる災害時の組織図の作成 6. 支援者に渡すことができる市町村内の地域区分や読み方の資料の整備 6. 災害対策本部、防災・危機管理部局との担当者同士の調整方法の確認 問8-3 自治体内での情報収集・情報発信に関すること (Oはいくつでも) 問8-2 管内の施設や資源の情報の整備に関すること(Oはいくつでも) 1. 発災時の職員の連絡方法の明確化(勤務時間内及び勤務時間外) 7. 都道府県保健所等の外部機関との担当者同士の調整方法の確認 5. 災害時に水、食料等を提供する企業や、協同できる NPO 法人 5. 責任者が判断する事項と担当者に権限委譲する事項の明確化 間8-4 指揮命令系統に関すること(Oはいくつでも) 3. 福祉施設等 (高齢者、児童、障害者)の場所 2. 医療資源 (病院、診療所、薬局等) の場所 9. 在宅被災者のニースの把握方法の明確化 3. インシデントコマンドシステムの導入 10. 車中泊の人数の把握方法の明確化 8. 情報システム活用方法の明確化 1. 何らかの災害時の組織図の作成 2. 職員の参集基準の明確化 4. アクションカードの作成 4. 災害時一時避難所の場所 1. 管内のハザードマップ すべき事項の明確化 7. 情報システムの整備 4. 報告方法の明確化 12. いずれもない 10. いずれもない 7. いずれもない 11. その他(6. その他(問8-7 各種疾病を予節するため、強難所に掲示できるボスターや被災者に配けできるチラン等の準備に関すること(Oはいくつでも) 問8-5 <u>職員に対する</u>教育・訓練に関すること (Oはいくつでも) 問8-6 住民に対する教育・訓練に関すること(Oはいくつでも) 2. 発災時に高まる健康課題に関する講習会の開催または参加 1. 発災時の職員の対応に関する講習会の開催または参加 5. 地区組織との災害時対応のあり方に対する講演・協議 2. ハザードマップや避難場所の周知活動 6. 実践的訓練(対応を自ら考えるなど) 7. 関係機関・住民が参画した訓練 5. 机上ショコレーション訓練 4. 災害ボランティアの育成 3. 住民が参加する防災訓練 1. エコノミークラス症候群 1. 救急救命購習会の開催 2. 感染症や食中毒 3. 情報伝達訓練 9. いずれもない 7. いずれもない 4. 生活不活発病 3. 223077 7. いずれもない 8. その他(5. 口腔衛生 6. その他(4. 参集訓練

3. 情報収集・報告のための帳票類の明確化

5. 市町村内の地図の整備

連携のための会議を行ったことがある管内の関係機関・施 れですか。(Oはいくつでも) 2 歯粒診療所		4. 医即云•幽科医即云 名籍協会		^		万規模自然災害発生時の適切存栄養確保・メニューの選定、食物アレルギー患者や乳幼児、高齢者等の特殊な栄養ニーズをもつ住民への対応等の技術的なことに関して、事性能に市団村栄養土またはその他の保健担当部門の職員が協議を行ったことのある関係機関・組織はどれてすか。(Oはいくつでも)	2. 災害時の食料供給業者	4. 住民組織		^		大規模自然災害に関して、貴市町村では医療チーム、他自治体の保健チームの支援)受け入れについて話し合ったことがありますか。(Oは一つだけ) ある	びらの支援について、当てはまるものはどのよう	は不暇です。○はいくつでも) - 1-1- そ門子を買すれ	COLVIONALLY,NOBOYANION。 保健所主催の連携会議に参加した、または参加している の細センガー田シー・シー 木杯ボーボーギ ギギギギギー・ドレス	は、モュイルなに致して、おんなに残りているわれた	^		7
問の大抵機自然災害に関して、連携のための会議を行った 設で、当てはまるものはどれですか。(Oはいくつでも) を除る。影響等	1. 水分元 - 四次元 二	3. 切回面職人アーンコノで 嫌凶信令	9. 健康運動指導工会	10. みの街(11. いずれもない	問 10 大規模自然災害発生時の適切な栄養確保・メ 乳幼児、高齢者等の特殊な栄養ニーズをもつ住民 平常時に市町村栄養土まだらその地の保護担当 関係機関・組織はどれですか。(Oはいくつでも)	1. 防災・危機管理部局	3. 自衛隊	5. 栄養士会	6. その街(7. いずれもない	問 11 大規模自然災害に関して、貴市町村では医療チーム、他自治体の 者の受け入れについて話し合ったことがありますか。(〇は一つだけ) 1. ある	この。 日12 大規模自然災害にかかわる保健所	なものですか。(保健所設置市は回答は不要です。Oはいくつでも)	 : 新・米陸が27F及しているヤーユアルのBD34を2012 2: 最近2 年以内に、保健所主催の連携会議に参加した。 - G 四部下 - ※F	(本年が) (同じ) (国際) (国際) (国際) (国際) (国際) (国際) (国際) (国際		6. いずれも行っていない	

問 18 遊離所生活において、必要となる下記の物の確保について、保健担当部門の職員が参加して検討が行われたことはありますか。(Oはいくつでも) 間 14 大規模自然災害に対する貴市町村の保健担当部門としての準備に関して、課題はあ 24. 携帯電話の充電器・充電スペース 6. 高齢者・障害者に配慮したトイレ 26. 段ボール製簡易ベッド 18. 着替えスペース 3. 保管場所の問題で医療物資の準備や受け入れ数に限りがある 5. 職員間で具体的な命令系統や役割分担の共有ができていない 28. 子供の遊び場 14. 感染症患者室 10. 手指等消毒液 30. 自炊調理場 4. 予算がなく、消費期限切れの物資の買い換えができない 2. 緊急の食料 12. 手洗い場 32. その他(22. 物干し場 8. 生理用品 20. 沙威画 16. 網戸 2. 災害時の関係機関との連絡方法が決まっていない 7. 災害対策を統括する部署との連携がとれていない 6. 職員に対する発災時の訓練ができていない 1. 医療救護の応援機関が選定できていない りますか。(Oはいくつでも) 11. ウェットティッシュ 9. トイレットペーパー 31. ペット用スペース 25. 弾性ストッキング その他(
 特に課題はない 17. シャワー・風呂 21. 洗濯機・乾燥機 23. 貴重品ロッカー 19. 授乳スペース 33. いずれもない 29. 勉強コーナー 5. 仮設トイレ 7. 紙おむつ 3. 粉ミルク 27. 力フェ 13. 775 15. 治暖房 1. 飲料水

【大規模自然災害の発生時の役割・機能】	
間 15 大規模自然災害発生時に想定されている、 ものですか。(Oはいくつでも)	保健センターの役割・機能はどのような
1. 保健医療の情報拠点(情報統括本部)	2. 医療救護所
3. 医療物資の受け入れ、配付場所	4. 一時避難所
5. 福祉避難所	6. 日常生活物資の受け入れ、配付場所
7. ボランティアの受付場所	
8. その色(^
9. 特に決まっていない	
問 16 貴市町村の保健センター (保健部署の事務室がある建物、複数ある場合は中心的がもの)は、大規模自然災害時に使用できなくなる恐れはありますか。(Oはいくつでも)	(保健部署の事務室がある建物、複数ある場合は中心的な 使用できなくなる恐れはありますか。(Oはいくつでも)
1. 耐震性力弱以	
2. 浸水の危険がある	
3. 火災の危険がある	
5. アクセス道が不通になる危険がある	
特に危険はない	
問』』、保健センター(保健部署の事務室がある建物等)が使用不能となった場合を想定して、代替施設がありますか。(〇は一つだけ)	物等)が使用不能となった場合を想定し
1. ある 2. ない	3. 不明
問 18 大規模自然災害の発生直後(概ね 7/2 時間以内)に、 の - ** + + + + + + + + + + + + + + + + +	以内)に、保健師等の保健担当職員はどくしょことのよう。
のよりな役割を果たすったになっていますが。(しはいくしぐも)	(のほびくしでも)
1. 一次を表して「DPROJESTS」 し、 Manufalles 、 Manufalles	 内黎安康与中少久核 中少长 作业长 作业长
	4. 压力心災告望女郎衛宙心入核
問19 対策本部の中に、保健・医療部門を統括する者も入る体制になっていますか。	る者も入る体制になっていますか。(Oは
1. はい 2. いいえ	
o.	

4. 地域包括支援センターが安否確認する 問 23 滋難所における被災者による運営組織や掃除当番の確立、土足禁止等の衛生的な環境の確保などについて、どのように行いますか。(Oはいくつでも) 問20 難病患者の支援について、原則としてどのように行うことになっていますか。特に 支援が必要な患者を急頭にお答えください。(○は一つだけ) 間 24. 懸染症対策について、専門的な判断が必要となった場合、即言を受ける関係機関・関係者はどれですか。(Oはいくつでも) 2. 巡回する職員等からの報告 4. 避難者の自主性に任せる 6. 市町村外の感染症専門家 2. 市町村が安否確認する)が安否確認する 4. 国立感染症研究所 2. 病院の門前に開設 問22 避難所の状況把握はどのように行いますか。(Oはいくつでも) 2. 地方衛生研究所 2. 保健師が助言 問21 医療救護所の開設予定はありますか。(Oはいくつでも) 6. 病名や状況により1~5が決められている 10 3. 遊難所を運営する住民等からの報告 1. 都道府県保健所等が安否確認する 3. 近隣住民等が安否確認する 3. 平常時からの住民への啓発 1. 常駐する職員からの報告 5. 市町村内の感染症専門家 7. 特に決まっていない 5. 特に決まっていない 6. 特に決まっていない 5. 特に決まっていない 1. 市町村職員が助言 5. その色の機関(3. 診療所等に開設 1. 避難所等に開設 1. 都道府県保健所 3. 都道府県本庁 7. その他(4. その他(4. その他(5. その他(8. 特にない

は、2000 (1.
--

市町村保健センター(類似施設含む)調査帳票

この帳票は、前回調査の貴市区町村の回答が記入してあります。変更や訂正等があれば直接「赤色」 のペン等で訂正してください。なお、空欄箇所は、前回調査で無回答の箇所ですので、ご記入ください。 (注)貴施設が既に廃止、もしくは保健センターとして使わなくなった場合は、調査票の全体に×印をつけて、ご 返送ください。詳しくは緑色の用紙「調査票のご記入にあたって」をご参照ください。

市町村コード

市区町村名 都道府県名

施設名

施設郵便番号 施設住所

施設電話番号

施設 Fax 番号

開設年月

施設全体の延べ床面積

㎡ 保健センターのみの延べ床面積

m

施設の種別

複合相手施設



複合相手施設に追加があれば、下記の該当箇所に○印をお付けください。(○印はいくつでも)

施設形態

1. 福祉関係	2. 医療関係	3. その他
1. 地域包括支援センター	1. 病院	1. 役場(所)
2. デイサービスセンター	2. 診療所	2. 公民館
3. 老人福祉センター	3. 歯科診療所	3. 図書館
4. 在宅介護支援センター	4. 休日·夜間診療所	4. 児童館
5. 障害児通園施設等	5. 訪問看護ステーション・センター	5. フィットネスセンター
6. 小規模作業所等	6. 健診センター	6. コミュニティセンターや集会所
7. 社会福祉協議会	7. 医師会・歯科医師会	7. 温泉施設 (温泉のみ)
8. ボランティアセンター	8. 薬剤師会	8. プール (温水含む)
9. 保育園・保育所	9. 看護協会	9. ショッピングセンター等
10. 子育て支援センター・ファミ	リ 10. その他	10. その他
ーサポートセンター	()	()
11. その他()	

施設に常駐している職員数(訂正の他、ブランクの箇所にも人数をご記入ください)

職種	常駐職員数	職種	常駐職員数
事務職	名	理学療法士	名
医師	名	作業療法士	名
歯科医師	名	歯科衛生士	名
保健師	名	放射線技師	名
助産師	名	その他の保健・福祉・医療職等	名
看護師	名	その他の職員	名
栄養士	名		
(うち管理栄養士:再掲)	(名)		

施設長の有無と職種・職制(該当する箇所に〇印をお付けください)

有無	1. 常勤でいる (a.専任	£ b.兼任)	2. 非常勤でいる (a.i	専任 b.兼任)	3. いない	
職種	1. 事務職 2. 医師	3. 保健師	4. その他()		33
職制	1. 部長·次長職相当	2. 課長職相当	3. 課長補佐職相当	4. 係長職相当	5. その他()

ご協力 ありがとうございました

平成 28 年度 「市町村保健活動調査」 「市町村保健センター及び類似施設調査」 調査研究委員会名簿

役名	氏 名	所属
委員長	増田 和茂	公益財団法人健康・体力づくり事業財団
委員	尾島 俊之	浜松医科大学健康社会医学講座
委員	島田美喜	東京純心大学看護学部
委員	鳩野 洋子	九州大学大学院医学研究院
委員	弓場 英嗣	株式会社社会保険研究所

(五十音順)

平成 28 年度地域保健総合推進事業 「市町村保健活動調査」 「市町村保健センター及び類似施設調査」 _{報告書}

平成 29 年 3 月

編集 • 発行: 日本公衆衛生協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番8号 ホームページ http://www.jpha.or.jp/

※無断転載および複製を禁じます。